

# 視聴覚教育

NO. 396

発行日

25. 10. 28

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

## 視聴覚用語

### 『著作権法38条』

通常は小説・絵・音楽などを使用する場合は著作者の承諾を得なくては行けないが、営利を目的としない上演に関しては、著作物の上演・演奏・上映・口述などが認められていることが示されている。学芸会などがこれに該当する。

## バランスよく継続的にモラル指導を

学習情報指導員 佐渡英彰

飲食店で集団が全裸になり、その画像がインターネット上に公開されるという事件があった。その飲食店は閉店を余儀なくされ、威力業務妨害と公然わいせつの疑いで二人が逮捕された。最近、「ウケればいい」という悪ふざけ投稿による事件が続いている。このことに憤りを覚えるとともに、インターネットの向こう側に多くの人が存在することを、全く気にしていないことに驚きを感じる。彼らは情報モラル教育を受けてこなかったのだから。

- 九月の中旬、学習情報部・道徳部・特別活動部・生徒指導部合同による自主研修会「みんなの情報交換 どうする!?情報モラル」が行われた。七〇名を超える参加者数に、先生方の関心の高さが伺えた。研修内容は、次の五点である。
- ① ネット社会の負の側面（NHK番組視聴から）
  - ② LINEを使ってみよう（実習形式）
  - ③ 現状把握（グループによる意見交換）
  - ④ 中学生フォーラムの報告（ビデオ視聴から）
  - ⑤ 授業実践にあたって（資料から）
- 研修から次の三つのことが分かった。  
一つ目は、教師や保護者が思っているよりも

事態は深刻であり、小さなトラブルが無数に起こっていること。これからは子供や教師はもちろん、保護者に対しても講習会を開催するなど、今よりも啓発していくことが必要であろう。

二つ目に、小学生間で携帯ゲーム機の通信機能によるトラブルが起きていること。小学生の低学年のうちから計画的に「情報モラル」について指導していかなくてはならない。

三つ目に、中学生では、自分たちで携帯電話使用時のルール決めをするなどの動きが出てきていること。このような活動が、どんどん広がりを見せることを期待してやまない。

この研修会を通して「思いやりの心」を育てる道徳教育が大切であることが再認識できた。

医学では、西洋医学のように外科的な手術に代表される即効性の治療と、東洋医学のように自然治癒力を促す遅行性の治療がある。どちらも、人の病の源を見つけ、それを治癒しようというものに変わりはない。一方ではなく、両面をバランスよく取り入れることが大切だと言われている。本場に良い治療とは、患者本位の治療である。今まさに情報モラル教育においても、子供たちを危機やトラブルから救うため、同じような治療（指導）が求められている。

## Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ

### 平成25年度岡崎市教育研究大会

九月三日（火）、葵中学校で平成25年度岡崎市教育研究大会の学習情報分科会が開催された。助言者に名古屋大学大学院教授の大谷尚先生をお迎えし、「ICTを効果的に活用し、『生きる力』につながる情報活用能力と情報モラルの育成を充実させよう」をテーマに、熱心な討議が行われた。発表されたリポート内容を分類すると次のようになる。

- ① 教科指導におけるICT活用の研究（七点）
  - ② 授業以外のICT活用の研究（三点）
  - ③ 特別支援教育におけるICT活用の研究（四点）
  - ④ 情報モラル意識向上の研究（五点）
- 助言者の大谷先生からは、ICTを活用する場合の留意点や、提案のあったリポート一つ一つに丁寧な御指導、御助言をいただいた。
- なお、「父母と教師の教育を語る会（県教研）」には、次の二名が推薦された。十月十九日（土）に名古屋国際会議場にて開催される。

・大樹寺小学校 鈴木 一史先生

「教育活動を充実・発展させるためのICTの活用」

・美川中学校 長谷川 誉幸先生

「ICTの活用で生徒のコミュニケーション力を高める英語授業を目指して」



## II 実践報告 II

### 教材提示装置を使った書写の学習

奥殿小学校 大山千加良

本校では、全校児童が正しい姿勢と正しい鉛筆の持ち方で美しい文字を書くことができるように、書写教育を大切にしている。その中で、書写教育の充実のために教材提示装置が活用されている。

一般的な書写の学習では、水書板を使って手本を示すことが多い。だが、水書板は黒板に立て掛けて手本を示すため、筆の持ち方など伝わりづらい場面が出てくる。また、上手に書けた児童がいても、水書板で手本を示させることは難しい。さらに水書板では、時間が経つにつれ、手本の文字も徐々に消えていってしまう。

そこで本校では、書き方の見本として、教材提示装置と大型ディスプレイを組み合わせて指導している。教材提示装置を使うことで、実際の紙に書く様子をそのまま手本として示すことができた。また、筆や鉛筆が正しく使える児童に実演をさせることで、正しい持ち方を定着させることができた。



さらに本校の特色ある行事「全校席書会」では、教材提示装置にプロジェクターを組み合わせて活用した。すると体育館の大型スクリーンに投影でき、全校児童へのポイント指導が可能となった。その結果、全体の底上げを図ることができた。

このように本校では、教材提示装置を活用し、より効果的な書写指導を行うことに成功している。

## II レッツ・トライ II

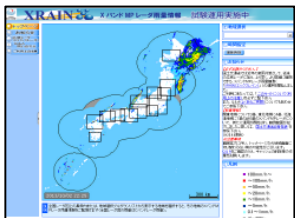
### 「XバンドMPレーダ雨量情報」を

取り入れた小学校5年生の理科授業

小学校5年生の理科では、天気の様子を学習する単元がある。この単元では、日単位の天気の移り変わりについて学ぶために、雲の衛星画像を利用する。しかし、単なる衛星画像では、「実感を伴った理解」には至らない。

そこで今回、天気の学習を進めるにあたって、「XバンドMPレーダ雨量情報」(以下Xバンド)を取り入れることにした。これは国土交通省が開設しているサイトで、より早く、より正確に雨雲の動きをとらえることができるため、豪雨対策として運用されている。これを用いることで、30分前から現在までの雨雲の動きが分かるので、雨雲と実際の天候を比較し、子供たちが雲の動きと天候の関係を実感できることをねらった。

授業を行った日は、朝から雨が降ったり止んだりしており、子供たちの関心は「部活時と下校時の天候」そこで、「Xバンド」のページから「地域選択」で「中部」を選択し、雨雲の動きを動画で再生すると、



「雨雲がこっち来る!」「やばい、これから雨が降ってくる!」など、雲の動きと実際の天候の変化をリンクさせたつぶやきが多く聞こえてきた。ほぼリアルタイムで雨雲の動きを知ることができる「Xバンド」ならではの实感を伴った学習ができた。

(大門小学校 学習情報主任 内田雅之)

## ライブブライラーだよ!

### ● 第11回ふるさと岡崎

メディアコンクールのお知らせ

「ふるさと岡崎メディアコンクール」の作品募集が11月11日(月)から始まります。児童・生徒が授業で取り組んだ作品や先生方が作った教材など、ぜひこの機会に御応募ください。応募者全員に参加賞を用意しています。

応募要項や応募票は岡崎市視聴覚ライブラリーのホームページ (<http://www.oavl.jp/>) にあります。多くの作品をお待ちしています。

#### 【募集期間】

平成25年11月11日(月)～12月6日(金)

(郵送による応募も可)

#### 【応募先】岡崎市視聴覚ライブラリー

〒444-8601 岡崎市菅生町一丁目三番地一

#### 【募集部門】

① 生涯学習部門

② 学校教育教材部門

③ 児童生徒作品部門

#### 【テーマ】

自由(生涯教育、又は学校教育の教材に適した

素材・内容で、応募者の自作であること)



#### 【利用メディア】

ビデオ教材(S-VHS、VHS、Hi8、

8ミリビデオ、ミニDV

DVD、BD等)

マルチメディア教材(CD、DVD等)

※使用音楽等の著作権にお気をください。